千葉商科大学大学院　商学研究科

中小企業経営管理コース

中小企業診断士登録養成課程



Management
Business Support
Finance
Analysis
Technology
Marketing

時代が求める中小企業診断士を養成

CUC 千葉商科大学
CHIBA UNIVERSITY OF COMMERCE

Top Message



千葉商科大学学長

宮崎　緑

時代が求める中小企業サポートのプロフェッショナルを養成する。

日本経済は中小企業が支えてきたと言っても過言ではありません。中小企業基本法の定めによる資本金や従業員数から規模の小さな企業を指していますが、実は、最新のテクノロジーや斬新なビジネスモデル等を生み出してきた母体であるスタートアップやベンチャー等も数多くあり、内外の経済に大きな影響力を発揮しています。

そうした中小企業の経営診断やコンサルティングには高度な専門知識や優れた洞察力を必要とし、AIでは置き換えにくい質を指摘する研究もあります。

特に、本学は建学の精神として治道家の育成を揚げており、人間味あふれる優れたコミュニケーション能力を培う風土の中で、専門性を追求する学修環境を用意しています。従って、中小企業診断士という国家資格と同時に経営管理の修士号を取得することができます。

新しい時代を拓く能力を、この中小企業診断士登録養成課程で磨いてください。



中小企業診断士登録養成課程
委員長

長谷川　博

ご挨拶

千葉商科大学では、2010年3月に中小企業診断士登録養成課程を開設いたしました。開設以来、約220名の中小企業診断士を社会に送り出しています。

2024年度より、「中小企業経営管理コース（中小企業診断士登録養成課程）」としてリニューアルしました。土日開講による通学や履修の利便性、第一線で活躍している実務家教員陣等、特色ある教育内容をより強固にし、これまで以上に社会的期待に応えていく所存です。本登録養成課程では中小企業支援を中心とする高度職業人の養成を通して、ミクロとマクロがリンクした世界における地域経済の発展に益々と寄与します。

時代とは課題的存在であり、時代の特有課題とは世界観的課題であると言われます。これまでに解決してきた課題というのは、その時代に負わされた特有課題なのです。よって、過去が残した課題を引き受けるだけでなく、世界同時化・多国間発達化したもはや現代後期と言われる時代以後の特有課題に我々は直面せざるをえません。

そこで、新たな解決をも要するという意識が媒介していることが大切です。この特有課題の核心を認識している者が、これまでをひたすらに延長するだけではなく時代をリードしていくのです。

これからの中小企業診断士として皆さんが実現していくことを期待しています。

理念と理想

本学では、2010年3月、大学院修士課程で
中小企業診断士登録養成課程を開設し、
これまで多くの中小企業診断士を社会に送り出してきました。
2024年4月より中小企業経営管理コースとして、
これまで以上に専門性を高め、これからの時代が求める
中小企業診断士を養成します。

養成する中小企業診断士像

01

強い会計力のあるコンサルティング力

千葉商科大学の伝統を活かした「会計、税務、金融及び財務等の幅広い知識を有し、
内部統制、コンプライアンスに長けた強い会計力」を持つコンサルティング力を育成します。

02

人間的魅力溢れる強いコミュニケーション能力と強い人材育成力を併せ持つコンサルティング力

中小企業診断士に最も必要とされる能力は、企業経営者が何を求めているのか傾聴し、
その求めているものを実践に移す能力です。分析力のみならず、相手に心を砕き、
親身になって改善点等を適切に提案できる豊かな人間性とコミュニケーション能力を育み、
経営者の心強いパートナーとなり得る強いコンサルティング力を育成するとともに、
今後の中小企業に必要とされる企業活動を支える技術・技能を継承する人材、企業活動の情報化、
グローバル化及びコンプライアンスに対応できる人材を育成する能力です。
豊かな人間性とコミュニケーション能力を活かし相乗的に人材育成及び
キャリア形成に強いコンサルティング力を育成します。

CUCが選ばれる理由

01
千葉県で唯一の登録養成機関

2010年に中小企業診断士登録養成課程を開設以来、約250名の中小企業診断士を輩出し、本学出身の診断士が各方面で活躍されています。

02
働きながら学べる土、日中心の授業展開

土曜日、日曜日を中心としたカリキュラム設定で仕事との両立が可能です。(製造業実習中心に、一部平日実施)

03
修士学位を同時に取得

本登録養成課程の授業カリキュラムは、大学院商学研究科のカリキュラムと連動しており、修了時には国家資格である「中小企業診断士」の登録資格と「修士(経営管理)」の学位が同時に取得できます。

04
本学独自のオリジナル科目

省令で定められた必修科目に加えて、中小企業診断士としての知見を深めるためのオリジナル科目を配置します。

05
経験豊富な講師陣

授業及び実習を担当する教員のほとんどが、中小企業診断士としてビジネスの現場で活躍している実務家です。科目ごとに豊富な経験と知識を併せ持った教員が授業を担当します。

06
専門実践教育訓練給付金

本登録養成課程は、専門実践教育訓練給付金の対象講座です。詳しくは厚生労働省のホームページの確認、またはご自身の住所を管轄するハローワークへ直接お問い合わせください。

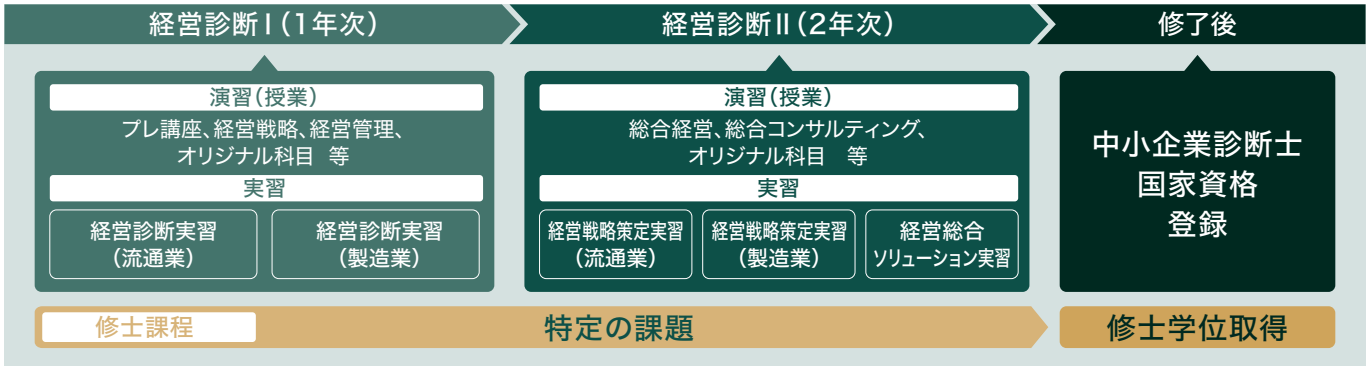
07
企業・団体との強力な連携体制

本学は、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部との業務連携協定をはじめ、一般社団法人千葉県中小企業診断士協会とも協定を結び中小企業の発展に寄与しています。

08
充実の学習環境

市川キャンパスでは、本登録養成課程専用の共同研究室と個人専用の学習机・ロッカーを完備し授業以外でも使用できます。

中小企業経営管理コース(中小企業診断士登録養成課程)の流れ



授業科目一覧

カリキュラムは、中小企業診断士登録養成課程で定められている省令科目（演習・実習）と、本学オリジナルの科目に加え、研究指導科目で構成されています。2年間で経営診断に必要なスキルとナレッジを身に付け、実践で活躍できる診断士能力を養成します。

	配当時期	種類	授業科目	
省令開講必須科目	1年次配当科目	演習	経営診断Ⅰ（経営戦略）	1.経営戦略
				2.マーケティング・営業マネジメント
				3.人材マネジメント
			経営診断Ⅰ（経営管理）	1.生産マネジメント
				2.店舗施設マネジメント
			経営診断Ⅰ（財務・情報戦略）	1.情報化
				2.財務・会計
			経営診断Ⅰ（コンサルティング・コミュニケーション）	1.助言能力
		実習	経営診断Ⅰ（製造業経営診断実習）	
			経営診断Ⅰ（流通業経営診断実習）	
	2年次配当科目	演習	経営診断Ⅱ（総合経営）	1.総合経営
				2.流通業総合・製造業総合
			経営診断Ⅱ（総合コンサルティング）	3.イシュー毎の実務的助言
		実習	経営診断Ⅱ（経営戦略策定実習Ⅰ）	
			経営診断Ⅱ（経営戦略策定実習Ⅱ）	
			経営診断Ⅱ（経営総合ソリューション実習）	

	配当時期	授業科目
オリジナル科目	1・2年次配当科目	知識確認プレ講座
		中間インターンシップ
		複合プログラム
		ブラッシュアップタイム

	配当時期	授業科目
研究指導科目	1年次	演習（ケースメソッド）Ⅰ
		演習（ケースメソッド）Ⅱ
	2年次	演習（ケースメソッド）Ⅲ
		演習（ケースメソッド）Ⅳ

※授業科目名は変更することがあります。

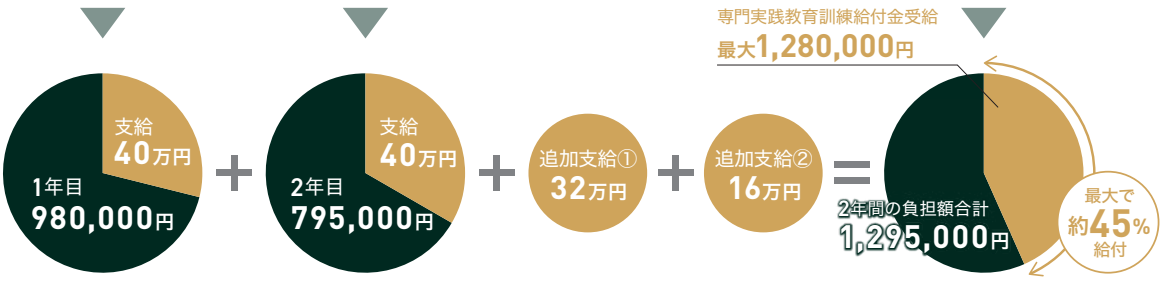
専門実践教育訓練給付金

専門実践教育訓練給付金の対象講座です。給付の申請手続には、「受講前申請」が必要です。入学予定者および今後の受験者で入学後に専門実践教育訓練給付金の給付申請を希望される方は、厚生労働省のホームページの確認、またはご自身の住所を管轄するハローワークへ直接お問合せください。詳細については厚生労働省ホームページをご確認ください。

通常学費
※受託徴収金を除く

1年目	2年目	2年間の負担額合計
1,380,000円	1,195,000円	2,575,000円

専門実践教育訓練給付金
支給後



※追加支給②：訓練修了後の賃金が受講開始前の賃金と比較して5%以上上昇した場合

教員紹介（一部紹介）



秋田 舞美 教授

●中小企業診断士
●秋田舞美のマーケ道 代表

中小企業診断士は大きな可能性を秘めている資格。2年間を通し、様々なバックグラウンドを持つ講師との出会いや受講者同士とのつながりは、その可能性をさらに広げてくれるかと思います。本学の中小企業診断士登録養成課程でお待ちしています！



石井 孝昌 教授

●中小企業診断士
●一般社団法人千葉県中小企業診断士協会 会長
●一般社団法人 日本中小企業診断士協会連合会　理事
●株式会社オリジナル・ランド 代表取締役

実務経験豊富な講師陣が熱意をもって皆さんの学習をサポートします。講義と実習を通じて、中小企業診断士として活躍するためのスキルを身に付けていただけます。また、２年間で得た仲間や講師とのネットワークは皆さんの財産になるはずです。多くの修了生がそれぞれの環境で活躍しています。ぜひ共に学びましょう！



今井 和夫 教授

●中小企業診断士
●一般社団法人千葉県中小企業診断士協会 理事 相談役
●今井経営事務所 代表

中小企業診断士の資格は、企業内でも独立しても、実践で役立つ大変有意義な資格です。特に養成課程では、2年間を通じて中身の濃い講義（インプット）と企業診断（アウトプット）をバランスよく体験でき、修了後の人生を豊かなものとすることでしょう。共に学び、成長していきましょう。



小野 史人 教授

●中小企業診断士
●株式会社ライブリッツ・アンド・カンパニー
代表取締役社長

本学の中小企業経営管理コースでは、「実践的な学び」を重視しています。単に学問的な知識だけでなく、現場での経験やノウハウも積極的に提供しています。ここは、あなたが望む自分に近づくための「訓練の場」です。仲間と切磋琢磨する2年間は、きっと貴重な時間となることでしょう。



角田 光則 教授

●中小企業診断士
●株式会社アップストリーム
代表取締役

現代社会はかつてないスピードで変化し続けています。中小企業を取り巻く環境もまた大きな変革の時代を迎えており、中小企業診断士にも広範な知識と深い洞察力に基づいた戦略的思考が求められています。本養成課程では千葉商科大学の理念である実学を実践するために、中小企業の内部に入り、経営者の生の声を聴き、企業の未来について提案を行う、現場主義を中心とした学びの機会を提供します。

修了生の声



御法川　麻里さん

2023年度修了（第13期生）

本学の中小企業診断士登録養成課程を志望した理由

1次試験勉強中から「2次試験に合格したとして、その先の自分のイメージが描けない。」と漠然と感じていました。「理論と実務が融合されたカリキュラムで、豊富な実務経験をもつ講師から、様々な視点で実践的なスキルを学んでみたい。その中でイメージも徐々に描けるのではないか」と養成課程の道を考えました。

志望の決め手は、平日は働き土日は学べるカリキュラムであったこと、多くの演習やオリジナル科目が組まれていたこと、オンライン説明会で修了生の先輩が話された「養成課程修了後のネットワークや連携力の強さ」です。その言葉のとおり、様々な世代、考え方、価値観を持つ方々との交流が修了後も大きな糧になっています。

受験を考えている方へ一言

自身の強い志と気概のほか、周囲、とりわけ家族の理解を得ることは大切です。入学前公私両立に不安を抱いていた私の背中を押してくれたのも、入学後全力でサポートしてくれたのも家族でした。通うのは自分、学ぶのも自分、頑張るのも自分ですが、振り返ると周囲の理解・サポートがあってこその2年間でした。通学そのものや、目の前のやるべき課題で余裕がなくなることもありますが、学べる環境、周囲に対する感謝の気持ちを忘れないことは重要です。

養成課程で絶対に得たいものや将来のビジョンを明確にしておくと、「大変な」2年間が、「充実した」2年間になります。私は千葉商科大学大学院の中小企業診断士登録養成課程を修了して良かったです。



齋藤　秀文さん

2024年度修了（第14期生）

本学の中小企業診断士登録養成課程を志望した理由

私はこれまで多くの中小企業経営者や個人事業主と接する中で、「事業の存続・成長」という本質的な課題に応えられる存在になりたいと考え、中小企業診断士登録養成課程への進学を決意しました。仕事と学業を両立する上で、大学院の支援体制も重要だと感じ、複数の大学院説明会に参加し比較検討した結果、「ここなら自分に合う」と確信できたのが千葉商科大学大学院でした。理論と実務を学べる独自の科目構成や、実務経験豊富な講師陣、土日集中型のカリキュラム、さらに図書館や研究室といった学修環境が充実している点が強く印象に残りました。なかでも、職員の方々による温かく丁寧な支援体制は、大きな安心感となり入学を決める決定的な要因となりました。

受験を考えている方へ一言

入学オリエンテーションの日、私から「みんなで写真を撮りませんか？」と声をかけたのが、同期での最初の集合写真でした。そこから私たちは切磋琢磨しながら知見を高め合い、写真も思い出も増えていきました。千葉商科大学大学院では、課題の本質を見抜く力、傾聴力、そして「見せ方・伝え方」を意識したプレゼンテーション力が着実に磨かれていきます。それらは「自分はどうなりたいのか？」という強い志と目的意識を持つことで何倍にも深まります。修了後も、講師や同期という“聞ける人・頼れる人”がいることは、心強い支えになります。「ここで学んでよかった」と思える瞬間が、きっと何度も訪れるはずです。皆さんの入学を、心よりお待ちしています。



西尾　夏輝さん

2025年度修了（第15期生）

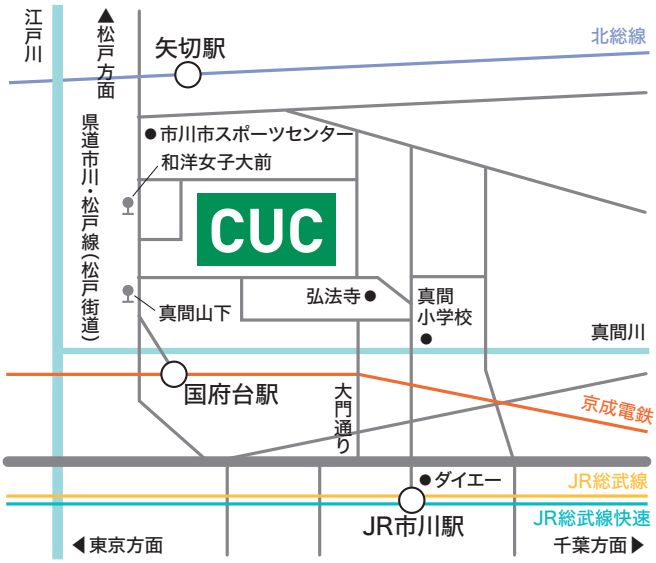
本学の中小企業診断士登録養成課程を志望した理由

過去に経営改善支援に携わる中で、「資格もない若造」と言われた悔しい経験をきっかけに、中小企業診断士を志しました。一方で、二次試験合格後すぐに実務の現場に立つことへの不安もあり、体系的な知識と実践経験を得られる養成課程への進学を決めました。中でも本学は、実務家教員から直接指導を受けられる点や、ケーススタディやグループワークを通じてアウトプットの機会が豊富である点に魅力を感じました。実際の授業では、企業事例をもとに課題抽出から施策立案までを繰り返し行い、他の受講生や教員から多面的なフィードバックを受けることで、自身の思考の癖や弱点に気づくことができました。さらに、実習では複数名で議論を重ねながらお客様に向き合い、限られた時間の中で成果物を仕上げる経験を積むことができ、非常に有意義でした。これらの経験は、現在の実務においても大きな糧となっています。

受験を考えている方へ一言

2026年4月現在、Claude Codeをはじめとした AIエージェントの進化により、思考だけでなく実行まで代替される時代となりました。診断報告書の作成も短時間で可能となる一方で、AIを適切に活用するための「一次情報の質」がこれまで以上に重要になっています。そのためには、実習先企業の現場に足を運び、経営者や現場担当者の声に直接触れることが不可欠です。本学の養成課程では、講義で学んだ理論をもとに、ディスカッションを通じて思考力を磨き、それを実習で実践するサイクルが組まれています。特に、仮説構築から検証、提案までを一貫して行うプロセスは、単なる知識習得にとどまらない実務力の向上に繋がります。実践を通じて本質的な力を身につけたい方にとって、非常に有意義な環境であると感じています。挑戦意欲のある方のご入学をお待ちしています。

キャンパス・アクセス

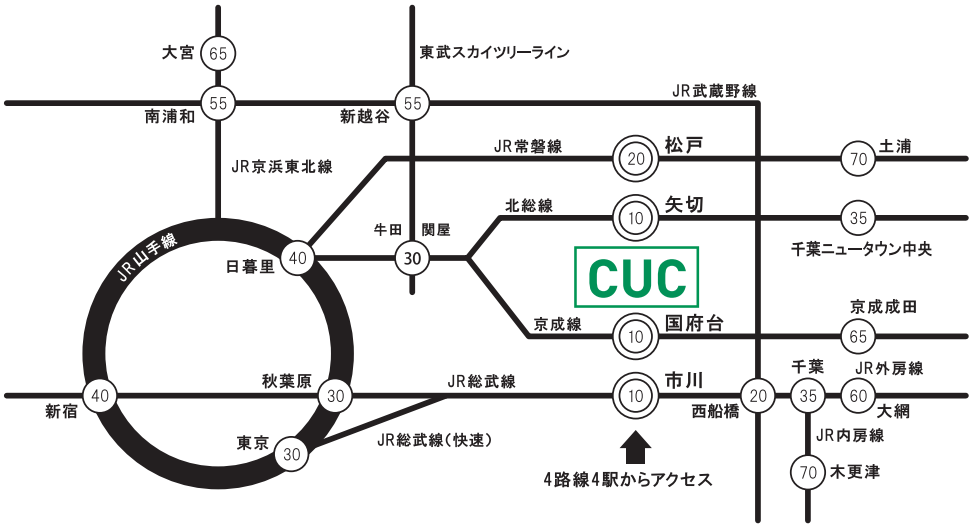


JR総武線　「市川駅」
徒歩20分または京成バス1番
乗り場から松戸方面行き10分
「和洋女子大前」で下車徒歩3分

JR常磐線　「松戸駅」
京成バス1番乗り場から市川駅方面行き20分
「和洋女子大前」で下車徒歩3分

北総線　「矢切駅」
徒歩20分または京成バス10分
「和洋女子大前」で下車徒歩3分

京成線　「国府台駅」
徒歩10分



数字は本学までのおおよその所要時間（分）※乗り換えなどの時間は含みません。

千葉商科大学中小企業診断士登録養成
課程についての詳しい情報はこちら

千葉商科大学　中小企業診断士

CUC 千葉商科大学
CHIBA UNIVERSITY OF COMMERCE

千葉商科大学　大学院課　中小企業診断士登録養成課程担当

〒272-8512　千葉県市川市国府台1丁目3番1号
TEL：047-373-9755　E-mail：grad3@cuc.ac.jp

※事務取扱時間9：00-17：00（月曜・祝日、日曜11：30-12：30を除く）
※日曜日はE-mail対応のみ。